

## 復興庁と国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターとの リビングラボの取組等に係る包括的連携に関する協定（概要）

### （目的）

本協定は、復興庁及び国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターが多様な分野で包括的な協力関係を築き、両者が実施するリビングラボの取組等を連携させ、相互発展を図ることにより、福島浜通り地域等の復興に資することを目的とする。

### （連携内容）

復興庁と国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターは、上記の目的を達成するため、それぞれの機関の有する知識、経験及び能力を活かし、次に掲げる取組について相互に連携・協力して、福島浜通り地域等における復興課題の解決、産官学民連携、人材育成等を推進する。

- （１）復興庁が取り組む「浜通り復興リビングラボ」と国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターが取り組む「地域共創リビングラボ」の連携による相互発展。
- （２）復興庁と国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターがそれぞれ実施するリビングラボの取組の国内外に向けた情報発信や国際的な連携協力。
- （３）前各号に掲げるもののほか、目的達成のために必要な取組。

設立年月：2018年11月

設立目的：

東大先端研の保有する学際的な先端知を集結し、地域課題に関わるあらゆる人々との対話を重ね、持続可能な社会の未来を共創的にデザインすることを狙いとして設置。「地域共創リビングラボ」を通じて、研究シーズと地域課題のクロスオーバーが研究分野や自治体の枠組みを超えて実現することを目指して活動。科学技術の社会還元を目指して協働するための組織。

リビングラボ

## ◆プロジェクト例◆

### ①福島県いわき市

#### 風力発電産業の新業創産出にむけた取組

地域の教育機関、経済団体、企業などと連携しながら、風力産業の将来を担う人材育成活動を展開。



▲風力インターンシップ

### ③石川県

#### 新技術・新製品の開発及び実用化にむけた取組

県と先端研が互いに資金を拠出し、石川県企業と先端研研究者の共同研究を支援。



▲共同研究によって誕生した技術・製品

※車いす用階段昇降機(左)、金箔による先端アート(右)

### ②和歌山県

#### 先端アートデザイン分野と連携した「高野山会議」

現在も空海の教えが息づく聖地・高野山に、芸術、宗教ほか様々な考え方の研究者や地域の方々が集い、未来へのメッセージを発信。



▲高野山会議

### ④熊本県

#### シニア向け社会参加促進情報

#### プラットフォーム(GBER)の導入

シニア層が多様な就業機会と地域社会で活躍できる環境を提供するシステムを導入。熊本地震からの復興でも活用。



▲GBER研究会